

子育て支援員研修にも活用できます

自治体の皆さまへ 貴自治体の研修事業にご活用ください

地域子育て支援拠点事業

従事者向け

- ◆基礎研修 2日型・1日型 修了証書発行
- ◆応用研修 2日型・1日型 修了証書発行
- ◆中堅者研修

new ◆グループワーク活用講座

子育て支援員
研修対応

新任・初任者向け

- ◆地域子育て支援拠点等 初任者研修

子育て支援員
研修対応

初任者・ボランティア向け

- ◆地域子育て支援士^(二種)養成講座

子育て支援員
研修対応

認定証発行

オンライン
対応可

さらなるスキルアップには

- ◆地域子育て支援士^(一種)養成講座

認定証発行

利用者支援事業

従事者向け

- ◆利用者支援事業等従事者研修

子育て支援員
研修対応

修了証書発行

オンライン
対応可

さらなるスキルアップには

- ◆利用者支援 スキルアップ 講座

子育て支援員
研修対応

オンライン
開催のみ

課題に応じた研修

- ◆講義型研修

オンライン
対応可



NPO法人
子育てひろば
全国連絡協議会

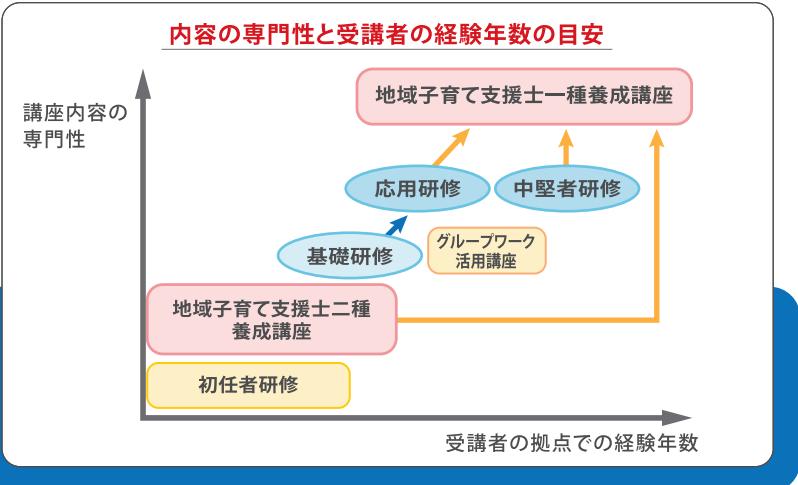
ひろば全協が提供する主な研修・養成講座一覧

対象事業	研修・講座名	対象					所要時間	受講人数	研修費 (税込・1名)	子育て支援員研修に対応	オンライン対応	当法人発行の認定証・修了証
		学生	ボランティア	実践者	専門職	行政職員						
地域子育て支援拠点事業	基礎研修(2日型)			○			1日目:6.5時間 2日目:3.0時間	18名～48名	要見積			修了証書
	基礎研修(1日型)			○			6.5時間	18名～48名	要見積			修了証書
	応用研修(2日型)			○			1日目:6.5時間 2日目:3.0時間	18名～48名	要見積			修了証書
	応用研修(1日型)			○			6.5時間	18名～48名	要見積			修了証書
	中堅者研修(1日型)			○			7時間	18名～48名	要見積			
	地域子育て支援士二種養成講座	○	○	○	○	○	7時間	当法人主催講座に参加または単独開催30名～60名	9,900円※1	○	○	認定証
	地域子育て支援士一種養成講座			○	○	○	7時間×3日間	当法人主催講座に参加	50,600円			認定証
	初任者研修(オンライン開催)	○	○	○	○	○	2時間	当法人主催講座に参加または単独開催40名～60名	4,400円※1	○(現任・フォローアップ)	○	
	グループワーク活用講座 new (オンライン開催)			○	○	○	3時間	当法人主催講座に参加または単独開催40名～60名	5,500円※1	○(現任・フォローアップ)	○	
	講義型研修	○	○	○	○	○	2～3時間	応相談	要見積	○(現任・フォローアップ)	○	
支援事業事業	利用者支援事業等従事者研修			○			9時間	15名～50名	26,400円※1	○	○	修了証書
	利用者支援スキルアップ講座(オンライン開催)			○			3時間	当法人主催講座に参加	12,100円※1	○(現任・フォローアップ)	○	

研修をご希望の場合は、お見積りをいたしますので、ひろば全協事務局へご連絡ください。

※1：子育て支援員研修としてお申込みの場合は管理費15%がかかります。

地域子育て支援拠点事業
従事者等を対象とした
研修・養成講座



子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費をご活用ください

地域子育て支援拠点の職員の資質向上のために、国の「子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金」における「地域子育て支援拠点事業所職員等研修事業(専門的研修)」の活用をご検討ください。

☆地域子育て支援拠点事業所職員等研修事業

- 趣旨・目的: 地域子育て支援拠点事業に従事する職員等に対して、必要な知識及び技術の習得並びに課題や事例を共有するための研修を行うことにより拠点従事職員等の資質の向上を図ることを目的とする。

- 補助率: 国1/2、都道府県・市町村1/2

☆研修代替職員配置加算

- 拠点の運営加算分として創設されています

ひろば全協が提供する講座

基礎研修
応用研修
中堅者研修

地域子育て支援士一種
養成講座
初任者研修
グループワーク活用講座
講義型研修

☆子育て支援員 専門研修

子育て支援員の専門研修「地域子育て支援コース」についてもひろば全協が提供するプログラムで対応可能です。

- 補助率: 国1/2、都道府県・市町村1/2

地域子育て支援拠点事業

利用者支援事業・基本型

地域子育て支援士二種
養成講座
利用者支援事業等
従事者研修

子育て支援員の専門研修・現任研修等に ひろば全協の研修をご活用ください

子育て支援員研修は、自治体が主催する全国共通の研修制度で、

「**基本研修**」と「**専門研修**」、「**フォローアップ研修**」「**現任研修**」があります。

①②の研修は、子育て支援員研修のシラバスに適合しますので「**専門研修**」として、

③④⑤の研修は、「**現任研修**」「**フォローアップ研修**」として活用可能です。

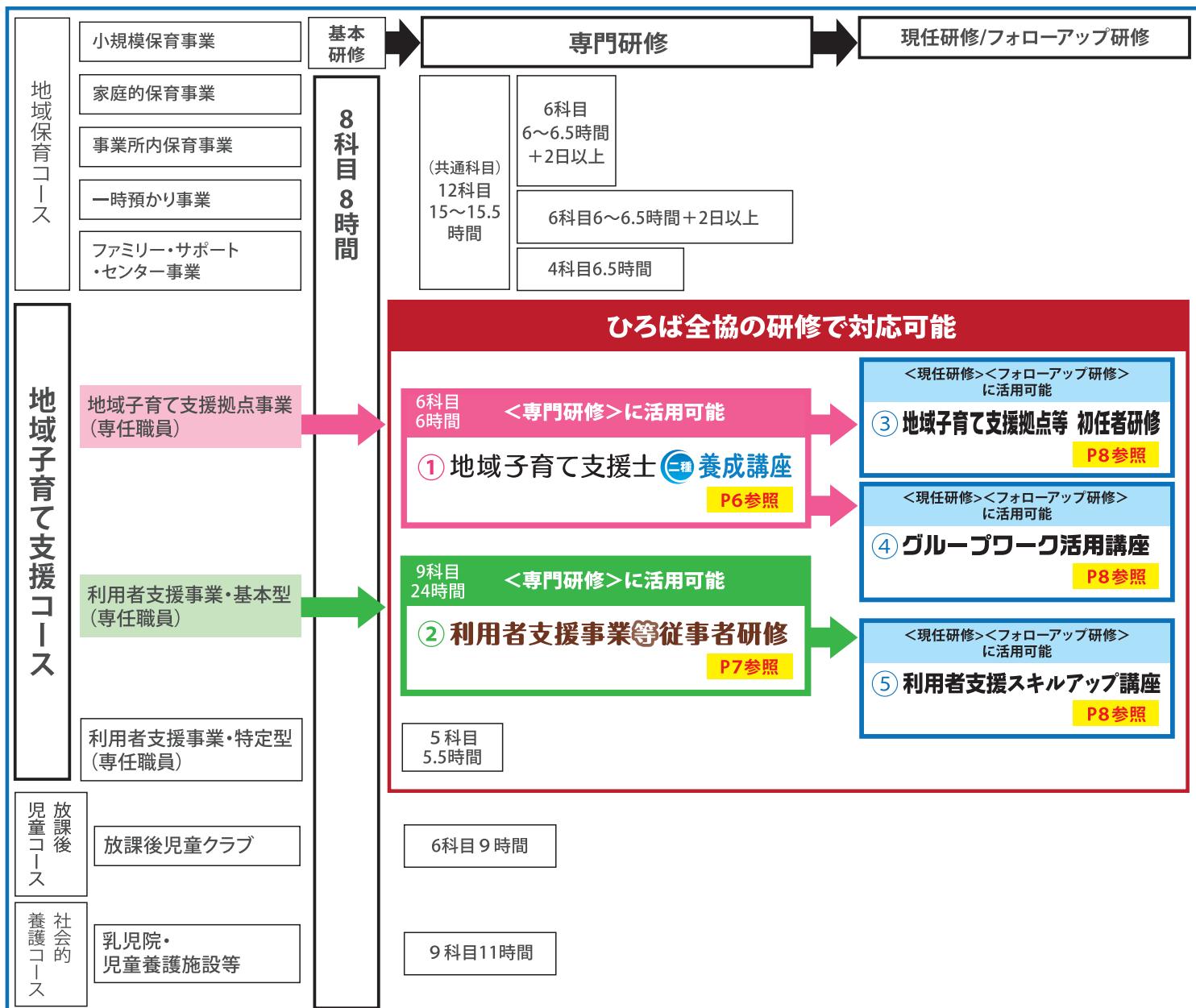
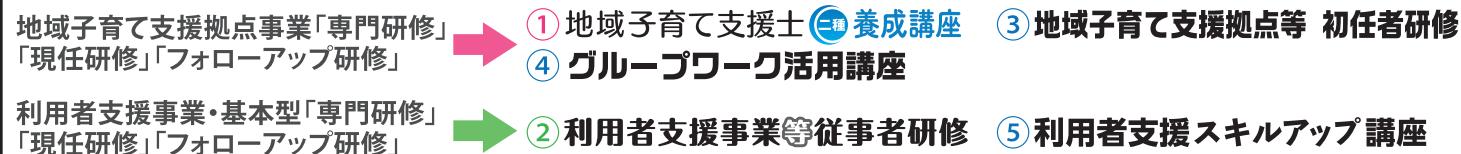
*1 当協議会が実施する研修は専門・現任・フォローアップ研修です

<現任研修>

すべての従事者が対象。基礎的分野から専門分野まで、必要に応じた知識・技術を習得する。

<フォローアップ研修>

経験2年未満の従事者が対象。子育て支援員研修で習得した内容や日々の実践を通じて生じた相談・質問、関係機関との連携のあり方等を解決する。



主催	受講人数	契約書	管理費
自治体の単独開催で受講	地域子育て支援士二種養成講座…30名以上 利用者支援事業等従事者研修…15名以上 初任者研修・グループワーク活用講座…40名以上 講義型研修…要相談	要*2	15%
ひろば全協の事業で受講 (自治体からの申込み可)	地域子育て支援士二種養成講座…1名～29名 利用者支援事業等従事者研修…1名～14名 初任者研修・グループワーク活用講座…1名～39名 講義型研修…要相談	要*2	15%

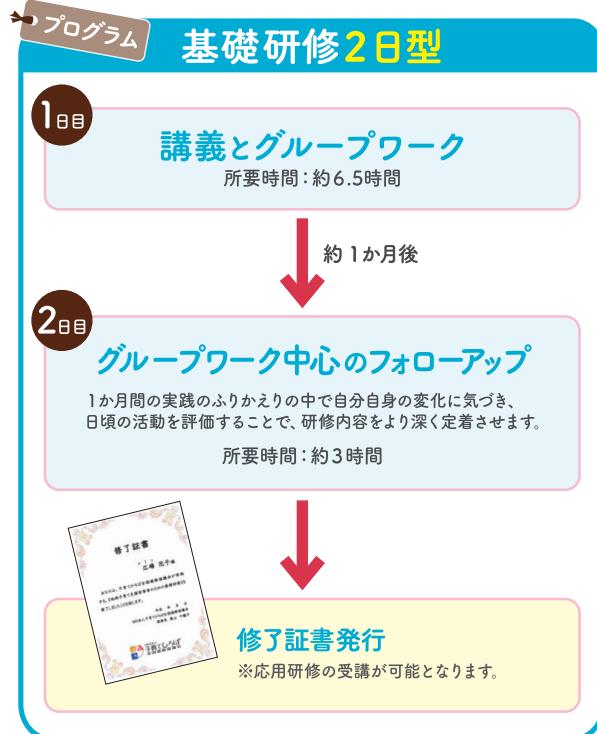
*2 国へ子育て支援員研修の補助を申請する場合は、自治体とひろば全協で共同実施の取り交わしが必要です

基礎研修

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会が研究・開発した研修プログラムを使用し、地域子育て支援拠点事業の基礎知識の習得や、グループワークを通して日ごろの活動をふりかえっていきます。

◆参加対象

- ・地域子育て支援拠点事業等、乳幼児とその保護者が交流する場の現任スタッフで、両日のプログラムに参加可能な方



*御要望に応じて1日型も実施可能です。

基礎研修1日型

講義とグループワーク

所要時間: 約6.5時間

約1か月後

ふりかえりレポート提出

1か月の実践を行い、ふりかえりレポートを提出します。

修了証書発行

※応用研修の受講が可能となります。

基礎研修

1日目

●講義

地域子育て支援拠点の事業概要
子育て支援が必要とされる背景
支援者の役割

●グループワーク

地域を理解する
自己覚知
ロールプレイング(利用者対応)
※宿題が出ます

2日目

●グループワーク

利用者と地域資源を俯瞰する
宿題をもとに1か月間の自分の変化の
ふりかえり



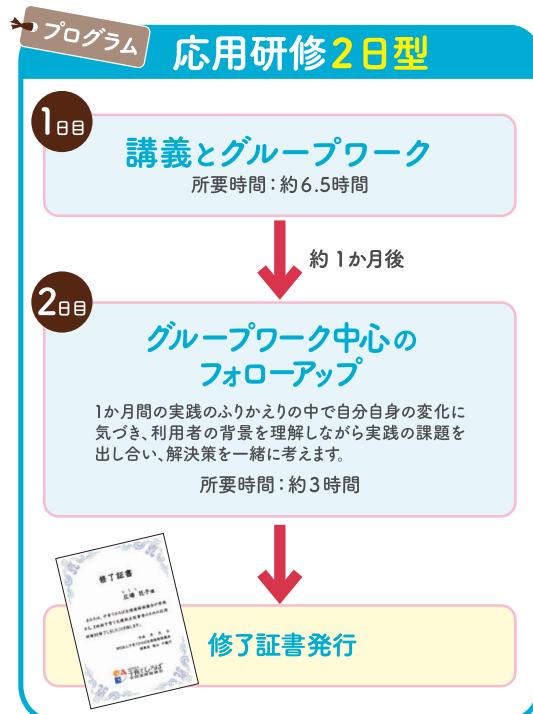
講師とファシリテーター数名を派遣します。

1グループ(4~6名)につき、ファシリテーターを1名派遣いたします。

基礎研修から約一年後 さらなるステップアップのために

応用研修

「応用研修」は、「基礎研修」の修了約1年後に実施します。グループワークを通して日ごろの活動をふりかえりながら実践的な支援を学ぶことができます。



*御要望に応じて1日型も実施可能です。

応用研修1日型

講義とグループワーク

所要時間: 約6.5時間

約1か月後

ふりかえりレポート提出

1か月の実践を行い、ふりかえりレポートを提出します。

修了証書発行

講師とファシリテーター数名を派遣します。

1グループ(4~6名)につき、ファシリテーターを1名派遣いたします。

応用研修

1日目

●講義

利用者同士をつなぐ
子どもの遊びと環境づくり
親との関係性・受容と自己決定

●グループワーク

利用者同士をつなぐ
子どもの遊びと環境づくり
親の話しを聞く－共感的態度－
※宿題が出ます

2日目

●グループワーク

親との関係性－生活の背景を理解する
「ガイドラインに基づく自己評価表」を基に
1か月間の実践のふりかえりの中で実践的
課題を出し合い、解決策と一緒に考えます



中堅者研修

「中堅者研修」は地域子育て支援拠点事業の業務経験年数がある程度ある方を対象に、スタッフの質の向上や地域における子育て支援に関する専門的知識や技術等の習得を目的として開発したプログラムです。基礎研修・応用研修を受講していない方も受講できます。

◆参加対象

・地域子育て支援拠点事業等、乳幼児とその保護者が交流する場の中堅の現任スタッフ

→ プログラム

中堅者研修1日型

事前課題への取り組み



講義とグループワーク

所要時間：約7時間

科 目	研修方法
1 子ども家庭福祉分野の政策・制度の動向 (拠点事業の制度上の位置づけや役割を含む)	講義
2 子育て家庭の理解と多様なニーズへの対応 (子どもの虐待・貧困・障害等を含む)	講義と演習
3 地域課題の把握とそれに対応する プログラムづくり	講義と演習
4 相談援助を行うための基本的知識と技術	講義と演習
5 地域連携による困難事例への対応	事例検討

※中堅者研修のプログラムは「平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業（厚生労働省） 地域子育て支援拠点事業に従事する職員の資質向上研修に関する調査研究（主任研究員：日本福祉大学 教授 渡辺顕一郎）」を基に開発しました。

講師とファシリテーター数名を派遣します。

1グループ（4～6名）につき、ファシリテーターを1名派遣いたします。

基礎研修・応用研修・中堅者研修

講師

地域子育て支援拠点事業に詳しい有識者、もしくは実践団体の代表者が担当します。



ファシリテーター

各グループにファシリテーターがつき、グループワークの進行役を務めるとともに、グループの参加者全員が研修の成果を最大限に引き出せるよう配慮し、課題を深めていきます。経験豊富な全国の実践者がひろば全協のファシリテーター養成講座を受講した上でファシリテーターとして活躍しています。



基礎研修受講者アンケートより

- ・ファシリテーターが上手くグループワークを進行してくれたので、ほかのメンバーから多様な対応方法や、利用者への配慮を学べた。
- ・ひろばでの困り事について、利用者の行動に目が行きがちだが、スタッフ自身の関わりや環境設定を工夫することで解決できると気付いた。

応用研修受講者アンケートより

- ・課題を話し合うグループワークは、とてもわかりやすかった。利用者対応のアイデアを沢山聞けたので是非参考にしたい。
- ・利用者の生活の背景を理解することの重要性を学んだ。1日目の研修後、実践を行った上で自己評価や振り返りを行ったので、多くの学びがあった。

中堅者研修受講者アンケートより

- ・複雑な子育て支援の政策制度、多様なニーズ等の講義がわかりやすかった。
- ・予防的視点からみた子育て支援拠点の大切さを改めて実感した。
- ・一つの事例をグループで検討することで、色々な捉え方がある事がわかった。利用していない人、住んでいる地域の課題についてもスタッフで考えていきたい。

研修テキスト

詳解

『地域子育て支援拠点 ガイドラインの手引 第4版』

子どもの家庭福祉の制度・実践をふまえて

- 1章 子ども家庭福祉と子育て支援
- 2章 子育て支援における基本的視点
- 3章 地域子育て支援拠点
- 4章 地域子育て支援拠点における課題
- 5章 実践例



◆編著（敬称略）

渡辺顕一郎（日本福祉大学 教授）
橋本真紀（関西学院大学 教授）

◆執筆者（五十音順 敬称略）

大豆生田啓友（玉川大学 教授）
奥山千鶴子（NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長）
金山美和子（長野県立大学 教授）
坂本純子（NPO法人新座子育てネットワーク 代表理事）
新澤拓治（社会福祉法人雲柱社 施設長）
橋本真紀（関西学院大学 教授）
渡辺顕一郎（日本福祉大学 教授）

◆編集 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

◆発行 中央法規出版株式会社

◆価格 本体：2,420円（税込）



地域子育て支援拠点等に関わる人のための認定講座

地域子育て支援士(二種)養成講座

子育て支援員の専門研修としても活用できます。

「地域子育て支援士二種」とは

「地域子育て支援士二種」は、乳幼児とその保護者が集う「地域子育て支援拠点」等に関わる支援者やボランティアなどに求められる基礎的な知識・技術を習得したことなどをひろば全協が証明する認定資格です。また、この資格は、地域子育て支援拠点に関わる初任者だけでなく、ボランティアなどの地域の活動者に対する「入門編」としても位置づけています。

◆受講要件：以下のいずれかに該当する方

- ①地域子育て支援拠点等における活動者（有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む）
- ②大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師 いずれかの養成課程に在籍する学生
その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生
- ③保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者
- ④地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者

- ◆所要時間：7時間
- ◆受講料：9,900円／1名（税込）
- ◆最少催行人員：30名

◆2024年度末 認定者：5,325名

地域子育て支援士二種 認定の流れ

養成講座
1日受講

認定試験
(講座終了時に実施)

合格

地域子育て支援士
二種認定



地域子育て支援士二種養成講座の開催について

開催方式	主催	受講人数	契約書	管理費
地域子育て支援士二種 養成講座として	自治体	30名以上	要	なし
子育て支援員専門研修 地域子育て支援コース 地域子育て支援拠点事業として	自治体	30名以上	要	15%
	ひろば全協 (自治体からの申し込み可)	1~29名	※要	15%

※国へ子育て支援員研修の補助を申請する場合は、事前に自治体とひろば全協で共同実施の取り交わしが必要です

◆開発チームよりメッセージ

主任研究員 渡辺顕一郎先生(日本福祉大学教授)

資格とは、専門的な仕事に従事するにあたってその仕事に必要とされる倫理・知識・技術などを有していることを証明するものです。また、資格制度があることにより、専門職としての社会的価値が高まり、有資格者が自信や責任感をより一層もって仕事に取り組める側面もあります。(中略)

地域子育て支援士を「木」にたとえるなら、「二種」資格は原理・原則を柱とする「幹」の部分、「一種」資格はその先に覆い茂る「枝葉」のようにイメージできます。支援において大切にすべき理念や原理・原則を柱とし、より詳細な専門技術を身につけることで、専門職という「木」が形作られていくのです。

しっかりと大地に根を張り、枝葉を広く茂らせて、その木陰で疲れた人々を優しく癒し続ける大木になるかどうかは、資格者養成に携わる研究者の力量とともに、資格を求める支援者の方々一人ひとりの熱意や絶え間ない努力も必要とします。ともに力を携えあいながら、地域子育て支援の質的向上を目指したいと切に願っています。

※「地域子育て支援士」はNPO法人子育てひろば全国連絡協議会の登録商標です（商標番号第5708302号）

さらなるスキルアップには

お一人でも貴自治体からのお申込みでご参加いただけます。

地域子育て支援士(一種)養成講座

「地域子育て支援士一種」は、乳幼児とその保護者が集う「地域子育て支援拠点」等において活動する者の実践経験をふまえ、理論的・体系的に視座を整理、獲得する機会を提供すると共に、一定の養成教育を受けたことをひろば全協が認定するものです。

◆受講要件：HPをご確認ください。

◆所要時間：7時間×3日間

◆受講料：50,600円／1名（税込）

◆最少催行人員：18名

地域子育て支援士一種 認定の流れ

事前課題への
取組み

養成講座
3日間受講

レポート
提出

合格

地域子育て支援士
一種認定

◆2024年度末 認定者：182名



利用者支援事業等従事者研修

子育て支援員の専門研修としても活用できます

オンライン
対応可

利用者支援事業※の従事者には、**利用者支援専門員として研修の受講が求められています。**
そこで、ひろば全協では、地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、個別の家庭状況を踏まえた支援のコーディネートをする方を対象とする「**利用者支援事業等従事者研修**」をご提供します。
ぜひ、開催をご検討ください。

「利用者支援事業」とは

子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う事業。

- ◆受講要件：地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験者、および、それらに準ずる者
- ◆所要時間：9時間
※開始・終了時間、休憩時間等を考慮の上、2日間に分けても開催できます。
- ◆受講料：26,400円／1名（税込） ◆受講人数：15～50名

研修の流れ

事前課題への取り組み

研修受講

修了証書



◆2024年度末の修了者：1,210名

利用者支援事業等従事者研修の開催について

開催方式	主催	受講人数	契約書	管理費
利用者支援事業等従事者研修として	自治体	15名以上	要	なし
子育て支援員専門研修 地域子育て支援コース 利用者支援事業・基本型として	自治体 ひろば全協 (自治体からの申し込み可)	15名以上 1～14名	要 ※要	15% 15%

※国へ子育て支援員研修の補助を申請する場合は、事前に自治体とひろば全協で共同実施の取り交わしが必要です

さらなるスキルアップには

お一人でも貴自治体からのお申込みでご参加いただけます。

利用者支援スキルアップ講座（オンライン開催）

利用者支援事業を実践する中で、さらに支援のスキルを高めることを目的とし、対人援助等、関連する各領域を深める講座です。

- ◆受講要件：「利用者支援事業等従事者研修」の修了者または利用者支援事業現任者およびそれらに準ずる者
- ◆所要時間：3時間
- ◆テーマ例：「記録のあり方」「援助関係の形成」「ピア・スーパーバイジョン」「利用者支援事業における対人援助スキルアップ」
- ◆受講料：12,100円／1名（税込）

地域子育て支援拠点等 初任者研修

(オンライン開催)

実践現場の初任者がまずは押さえておきたい基礎知識を2時間にまとめたオンライン研修です。『地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」』を軸に、子育ての現状や行政制度、地域子育て支援拠点事業の意義や役割、基本的な支援のあり方、守秘義務などのポイントを初任者がオンラインで学べる機会を提供いたします。

- ◆対象者 地域子育て支援拠点等の初任者、ボランティアスタッフなど
- ◆受講要件 PC等(1名1台)で顔を表示して受講できること
- ◆所要時間 120分
- ◆受講料 4,400円(税込/1名)
- ◆開催方法 オンライン会議ツールZoomによる講義と個人ワーク
- ◆テキスト 地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」

地域子育て支援拠点事業における活動の指標 「ガイドライン」	
2009年度策定／2017年度改訂	
講義 I	01 地域子育て支援拠点とは 02 基本的な考え方
講義 II	03 支援者の役割 04 子どもの遊びと環境づくり
講義 III	05 親との関係性 06 受容と自己決定 07 守秘義務 08 運営管理と活動の改善 09 職員同士の連携と研修の機会



お一人でも貴自治体からの
お申込みでご参加いただけます。

利用者同士の支え合いをはぐくむ～利用者の気持ちを引き出すために～

// 地域子育て支援拠点等従事者のための // グループワーク活用講座

親の今を受け止め、ピアサポートが生まれるプログラム作り

グループワーク活用講座とは利用者が主体的にプログラムに参加することで、利用者同士の支え合いや肯定的な子育てイメージをもつことを目指し、事前のテーマ決めから実施後の展開まで一貫して学べる講座です。

「講座・演習の実施が単なるイベントで終わってしまう」「利用者の声をどう利用者に戻したらよいか悩んでいる」といった実践者の声を反映したプログラムになっていますので、初任者からベテランスタッフまで利用者対応の研修としてご活用ください。

* グループワークとは参加者同士が子育ての关心や交流を通して共感することにより、主体的に学ぶプログラムです

お一人でも貴自治体からの
お申込みでご参加いただけます。

(オンライン開催)

- ◆対象者 利用者参加型のグループワークを活用したプログラムの開催を希望する地域子育て支援拠点等の職員
- ◆受講要件 PC等(1名1台)で顔を表示すること、音声をONにできること
- ◆所要時間 180分
- ◆受講料 5,500円(税込/1名)
- ◆開催方法 zoomによる講義と個人ワーク
- ◆テキスト 予防型プログラム(講座・講習)



課題に応じた研修

講義型研修

～講師を派遣し、地域子育て支援拠点について講義を行います～

オンライン
対応可

講義型研修とは

- ・講義テーマは、ご要望に応じて対応いたします。
- ・地域子育て支援拠点の従事者だけでなく、自治体職員や地域の様々な子育て支援に関わられている方々も一緒に、地域子育て支援について学ぶことができる研修です。
- ・地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」(改訂版)などを参考にした講義も行います。

◆参加対象

- ・地域子育て支援拠点事業等、乳幼児とその保護者が交流する場の現任スタッフ、自治体職員、子育て支援に関心のある方など



これからママ・パパになる人のために
地域子育て支援拠点ができること



地域子育て支援拠点事業における
活動の指標「ガイドライン」

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

〒222-0037 横浜市港北区大倉山1-12-18-303

TEL:045-531-2888・045-546-9970 FAX:045-512-4971

E-mail:info@kosodatehiroba.com

<https://kosodatehiroba.com>



NPO法人
子育てひろば
全国連絡協議会



2025年5月作成